BIWAKO YACHT CLUB

30th July　　WEEK NEWS　　1933

① wind Engine の快味，river sailing の charming 波止場の女の子，beer と 3銭（サクズキミバイ）の塩豆，quaterly の愛快，本腹の beer と夕立シャワーの心地よさ。

以上はヤンツーキャン遠征の items でした。時は七月十六日安田・中塚・安盛・岡本・鈴木・香原・吉本、四天王 super 四天王揃ひ。sailing 美 beer 美を満喫した話。

② 十五日琵琶湖周航を終って帰って休む間もなく品 Y.C. は善多君を leader として伏見迄トラックで 12 呎ターン 2 度を運んで淀川巡航。毛間をついて、築港を出て桂橋で condition をうかがひ一夜仮泊、甲子園、香櫨園を訪ひ大毎 Y.C. のメンバーを驚かし悠々と神戸を進出 須磨 岩屋（淡路）を経ひ、明石海峡の急潮を乗りきり播磨灘を出て、折柄、日本を尖端を突きぬんだ低気圧で、荒れ狂ふ海洋力と勇敢な闘ひ岡山への足を高砂の三菱製紙で止め、前途への希望を打勝つべく努力してゐる。岡山から引返して 8月6日には帰阪する由で元気で身体は日々黒くなるとのこと、氣持のよい yachtmanship への憧れを燃ゆる善多君の息事を祈ってゐる次第である　　昨夜の雨は、風はと、氣をかけ、心配してゐるのが僕どもである。㊟

③ 8月6日に近付いたので戦闘技術練習を柳崎沖に出動したわが 12 呎第一戦隊は浮標廻航、rule、の研究 Blanket tactic から サンドウイチ戦法を実練した。（安盛・鈴木・井上・吉本・長谷川・中塚君の一隊）30日は start と X course の overlapping rule, rounding marks 練習及 外人招待の打合せ、ポッポ船の見学をやる予定です。

④ Club House は宮崎・長谷川・安盛諸君が大変美しく整理して、柵まで作ってくれました。何も限らず物品使用後は一単位毎迄、ホドイテ置カネバナリマセン　バイオリンでも弓でも使用後は弦をユルメルでせう。日本の食器でも茶碗、吸物椀、……一別々に箱に入れて保存するもので一人分の set として保管しなく。錨、ブイ、櫂、旗ザホ、ロープ、皆一単位として保管場所を選いて下さい。これが技術の練磨です。毎日時間割りでも やって下さい 長いサホの下端を錨なんかついてゐては運ぶのも保管も不便です。組合せ力の養成になるかも知れなくよいこと思ひます。

⑤ ポッポ船は奥さんを忙いでゐます，甲板に張れた Engine の操縦をやってゐる位です。明快夕風は Jockey dai Wee は Senetor に否決せられました。君子の談、時代に入れられズ力の

⑥ 9日に英国作業に出席した安田君、井上、工林、を除く全員に 60 sen の通船金をとります。これで外人が来る迄に House 前がレールの間に地盛り出来ることになります。三君は Beer をオゴります。

⑦ とうとう吉野銀行員6名おかつがれて 29日夕方から吉本氏 House を案内することになりました。皆は House を御使用になる方々は使用方等に御注意の下さる様氏度重々及び候也。㊟
但し僕達は板の間で寝るのですから安盛、鈴木氏との土曜日からとゝふ所なる来日は実行出来ますが